



# とのやま



【学校教育目標】生き抜く力を身につけ、自ら輝く生徒の育成

【目指す生徒像】自立のために自律できる生徒

富士見台中学校HP

## 次年度に向けての土台をつくる

令和6年が幕を開けました。年明け早々の大地震に航空機事故と、被害に遭われた方々のことを考えると胸が締め付けられます。心よりお見舞い申し上げます。そして、学校としては、これまでも安心・安全な学校づくりや生徒の防災教育に取り組んできたところですが、今回のことを受けて、改めて「安心・安全」について指導していかなければならないと考えています。安全に関することについては「しすぎる」ということはありません。学校でも機会をとらえて指導してまいりますので、ご家庭でも何かあったときの対応等をぜひお話してください。

さて、いよいよ令和5年度の集大成である3学期が始まりました。3学期は一年間を締めくくる学期であると同時に、次年度に向けての土台づくりの学期です。そのため、「次年度に向けたゼロ学期」とも言います。3学期は短い日数ですが、仲間とともに、この一年間積み上げてきたものを見つめ直し、「ここまでできる自分(自分たち)になれた」と、自信をもって来年度に向かうことのできる3学期にしていきたいものです。

そのような思いを込めて、今日の始業式で生徒達に話した内容の一部を以下に掲載します。

(前略) 3学期が始まるにあたり、みなさんに期待することを二つお話しします。

一つ目は、これまでに培ってきた団結力をさらに高めることです。10月に行われた合唱コンクールを振り返ってみましょう。各学級が心を一つにして力を合わせると、一人では出せない大きな力を発揮することができました。こうした経験は、学校生活を通してこそできるものです。3学期は、1年生のスキー宿泊学習、2年生の修学旅行が控えています。また、進路に向けて頑張っている3年生は、「受験は団体戦」という言葉を何度も聞いていることでしょう。時に不安に駆られる受験こそ、これまで培ってきた学級のつながりが互いを支え、励ましてくれます。3学期も日々の学習や学校行事、部活動など様々な学校生活を通して互いのつながりをさらに深くしてほしいと願っています。

二つ目は、3学期が1年間のまとめの学期であることを意識し、次年度の自分の姿を考えてほしいということです。3学期は「次年度に向けたゼロ学期」です。みなさん一人一人が進学・進級した自分の姿を想像し、4月にはその姿に向かってスタートできるように、この3か月で克服すべき課題をはっきりさせることが大切です。(中略)

自分の課題を考え、克服するための手だてを実行することで、次年度の飛躍につながる3学期にしていきたいです。

令和6年も、学校教育目標である「生き抜く力を身につけ、自ら輝く生徒」を育成すべく、教職員一丸となって学校の教育活動を推進してまいります。保護者の皆様、地域の皆様のお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。

## 3年生のみなさんへ

3年生のみなさん、いよいよ高校入試が間近に迫ってきました。冬休みの間も一生懸命勉強を重ねてきたことでしょう。「自分はまだ本気を出していない」なんて悠長なことを言っていられない時期となりました。やるべきときには、本気を出してやり遂げてください。

今更ですが、何のために勉強をするのか、あなたはその理由を語ることが出来ますか。この答えは一つではありません。ここでは、その一つを紹介します。それは、勉強をして能力を高めることによって得られる「人生を選べる」自由を手に入れられるということです。

今、安易に楽な道を選ぶことで、自分の将来の自由度が狭まってしまうことがないように心がけましょう。

あなたは磨かれていない原石です。与えられた能力を磨いて伸ばすことで、あなたが望む結果を手にすることができます。あなたの未来には無限の可能性があるので。自らの手で、将来の自由度を広げていくことができるのです。

私立入試まではあとわずか、県立入試もそれほど日数があるわけではありません。うまくいくことも苦しいこともあると思いますが、夢や目標に向かって努力している過程そのものが人生の宝物となります。心身ともに疲れることもあるでしょうが、今が踏ん張りどころです。自分自身に負けてはいけません。

一念発起は誰でもする。実行、努力までならみんなする。そこでやめたらドンダリの背比べで終わりなんだ。一歩抜きん出るには努力の上に辛抱という棒を立てるんだよ。この棒に花が咲くんだ。

落語家 桂 小金治

中には、すでに進学先が決まった人もいます。そして、1月中に進学先が決まる人もいます。始業式でも話した通り、「受験は団体戦」です。最後の最後まで共に支え合い、励まし合って乗り越えていきましょう。

人生は二度なしです。二度とない今日、この瞬間を大切にこそ、希望に満ちた明日が訪れます。

あなたはできます。今はやる時です。